

**[話題提供名] バードソニックによる高周波音がねぐらのカワウに及ぼす影響**

**[要約]** 山梨県河口湖の鶺の島において、鳥害対策装置「バードソニック」が発生する高周波音がねぐらにいるカワウに及ぼす忌避効果を調べた。高周波音の発生エリアでは、カワウの個体数が従来より少なく、カワウは本装置が発生する高周波音を嫌う可能性がある。

**[担当]** 山梨県水産技術センター・増殖スタッフ・三浦正之

**[分類]** 技術・参考

---

**[課題の要請元]** 食糧花き水産課、峡東漁業協同組合、河口湖漁業協同組合

**[背景・ねらい]**

河口湖の鶺の島では、例年カワウが樹木をねぐらとして利用している。特に冬季には個体数が増加する傾向があり漁業資源への食害が懸念されている。また、鶺の島の樹木がコロニー化した場合、山梨県が行うコロニーの一元管理に甚大な影響が生じることから、ここでのカワウの挙動には注意を払う必要がある。今回、鶺の島のねぐらにおけるカワウ個体数の軽減を目的として山梨県富士河口湖町が設置した、高周波音で鳥を追い払う装置「バードソニック」(T. M. WORKS 社製) がねぐらのカワウ個体群に与える影響を調べた。なお、「バードソニック」は航空機へのバードストライク対策として空港でも利用されている。

**[成果の内容・特徴]**

1. バードソニックには高周波音を発生するスピーカーが付いている。また、防水対策が施されており、ソーラー充電が可能のため屋外に長期間設置可能である(写真1)。
2. 河口湖の鶺の島において、カワウは北側の樹木群を最も好み、このエリアの樹木が例年ねぐらの主な場所となっている。この樹木群に向けて、バードソニックの設置により2025年4月から高周波音を発生させた。
3. バードソニック設置後は、設置前と比較して12月における北側樹木群の個体数が大幅に減少したことから(図1、写真2)、本機の高周波音をカワウが嫌がる可能性がある。但し、鶺の島の他のエリアにねぐらが移ったため、鶺の島全体としての個体数は激減していない(図1)。
4. バードソニックが出す高周波音(騒音ではない)にはカワウへの忌避効果があることが示唆され、長期間の設置による慣れも生じにくいと考えられることから、今後カワウのコロニーやねぐらの除去に利用できる可能性がある。

**[成果の活用上の留意点]**

現時点では、河口湖の鶺の島での結果のみであるため、複数のねぐらやコロニー(除去すべきものに限る)において効果の検証が必要である。

**[期待される効果]**

カワウのねぐらやコロニーの一元管理による、カワウ個体数の低位安定と漁業被害の軽減

[具体的データ]

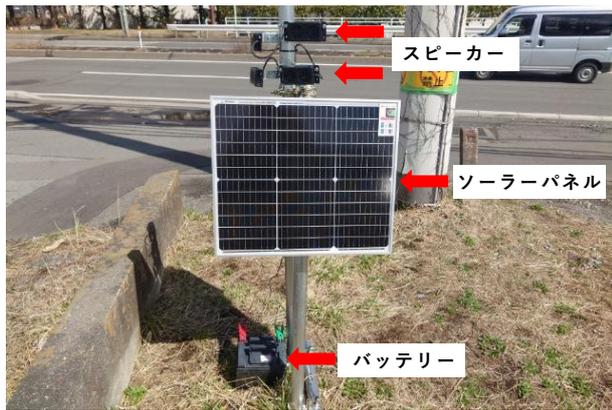
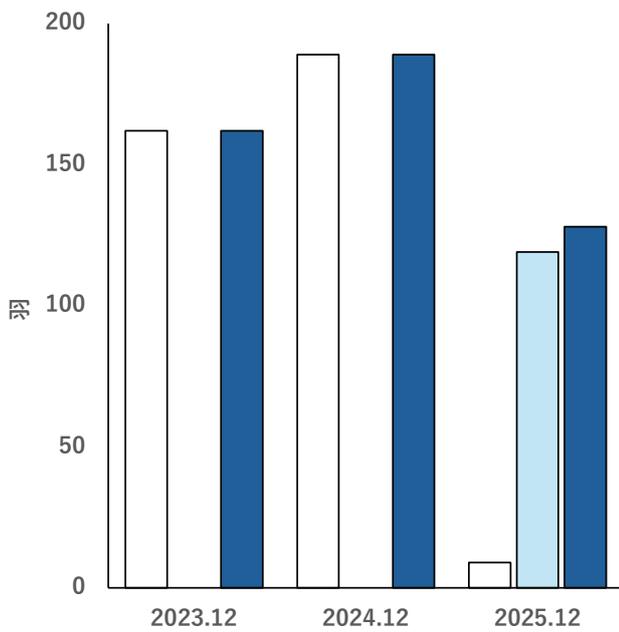


写真1 バードソニック



- カワウが好む北側樹木群 (2025.4月～高周波音発生)
- その他エリア
- 鶺鴒の島個体数合計

図1 鶺鴒の島における12月のねぐら利用カワウ個体数

写真2 河口湖鶺鴒の島のうちカワウが好む北側の樹木群のねぐら  
2025年4月～バードソニックにより高周波音を照射

[その他]

研究課題名：魚食性鳥類対策の効率化 (業務的課題)

予算区分：県単

研究期間：2023年度～2025年度

研究担当者：三浦正之